

## 第2学年 算数学習指導案（100より大きい数をしらべよう）

1 単元名 100より大きい数を調べよう

2 配当時数 12時間

3 活動時期 6月

### 4 単元の目標

1000までの数についてその意味や表し方を理解し、数の概念について理解を深め、図や式を用いて考える力を養うとともに、十進位取り記数法の仕組みを数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、そのよさに気付き今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。

#### ○知識・技能

3位数について、数の読み方や表し方、数の構成や大小、順序、数の相対的な大きさを理解し、数を書いたり読んだり、数や式の大小・相等関係を、不等号や等号を用いて表したりすることができる。

#### ○思考・判断・表現

10や100のまとまりに着目し、十進位取り記数法の仕組みを考え表現したり、数を相対的な大きさからとらえたりしている。

#### ○主体的に学習に取り組む態度

10や100のまとまりに着目して数を調べた過程や結果を振り返り、数理的な処理のよさに気付き今後の生活や学習に活用しようとしている。

### 5 教材観

10ずつのまとまりを作るという考え方は、十進位取り記数法を理解させるうえで基本となる考え方である。活動を通し、子供たちにはこの数え方のよさに気付かせ、十進位取り記数法の考え方を深めさせたい。また、フローチャートを使うことで児童の思考の流れを可視化し、順序立てて考え、効率的に課題解決を進めるプログラミング的思考を深めていく。

### 6 単元の指導計画（12時間）

目 標	時数	評 価
（1）数の表し方と仕組み		
3位数の読み方や表し方を理解する。	2	知・技① 態 度①
3位数の位取りの仕組みや数の構成を理解する。	2	知・技②

目 標	時数	評価
数の相対的な大きさをとらえることができる。	1	思・判・表①
3位数の大小・順序を理解する。 (プログラミング教育コアカリキュラム)	1	知・技②
1000の構成、数の読み方、書き方及び1000付近の数を理解する。	1	知・技③
1000までの数の構成を多面的にとらえ、数の見方を豊かにする。	1	思・判・表②
(2) 何十、何百の計算		
何十、何百同士の足し算、引き算の計算の仕方を、数の構成に着目して考え、説明することができる。	1	知・技④ 思・判・表③
(3) 数の大小		
不等号を知り、数の大小を式に表すことができる。	1	知・技⑤
数や式の大小、相等関係を不等号、等号を用いて式に表すことができる。	1	知・技⑥
まとめ	1	

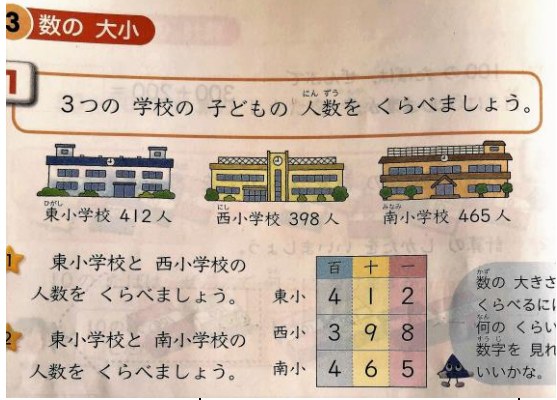
## プログラミング教育コアカリキュラム(配当 1時間) 6/12

◎ 目 標 3位数の大小・順序を理解する。(知・技)

◎ プログラミング教育との関連

児童の思考過程をフローチャートで表すことを通して、順序立てて考え、効率よく課題解決を進める方法の意識化を図る。

◎ 展 開

学習活動	主な発問 (T) 予想される児童の反応 (C)	指導上の留意点
<p>■あてがわかる。</p>	<p>数の大きさの比べ方を考えよう</p>	
<p>■学習問題を知る。</p>	<p>T 東小と西小では、どちらの方が 児童の数は多いでしょうか。</p>	
<p>■考える。</p>	<p>◎ 【個人】 → 【ペア】 ◎ 数字カードを使って。 ◎ 自分の考えをノートに書く。 ◎ ペアで考えを伝え合う</p>	<p>各位の数字が表す意味を考えさせる。</p>
<p>■発表する。</p>	<p>T では、発表してください。  C 東小のほうが多いです。 その理由は、百の位の数が、東小は、4 で、西小は、3 だからです。  T 大きい位から比べると、速く大きさを比べられますね。</p>	<p>下の位から比べることの非効率性も、同時に考えさせる。</p>
<p>■学習問題2を知る。</p>	<p>T では、東小と南小は、どちらが児童の数は多いでしょうか。</p>	
<p>■考える</p>	<p>◎ 【個人】 → 【ペア】 ◎ 数字カードを使って。 ◎ 自分の考えをノートに書く。 ◎ ペアで考えを伝え合う</p>	
<p>■発表する</p>	<p>T では、発表してください。  C 南小のほうが多いです。 その理由は、百の位の数は 4で、同じでも、十の位が東小は、1 で、南小は、6 だからです。 T そうですね。この問題でも、大きい位から比べると、速く大きさを比べられますね。</p>	

■フローチャートをつくる

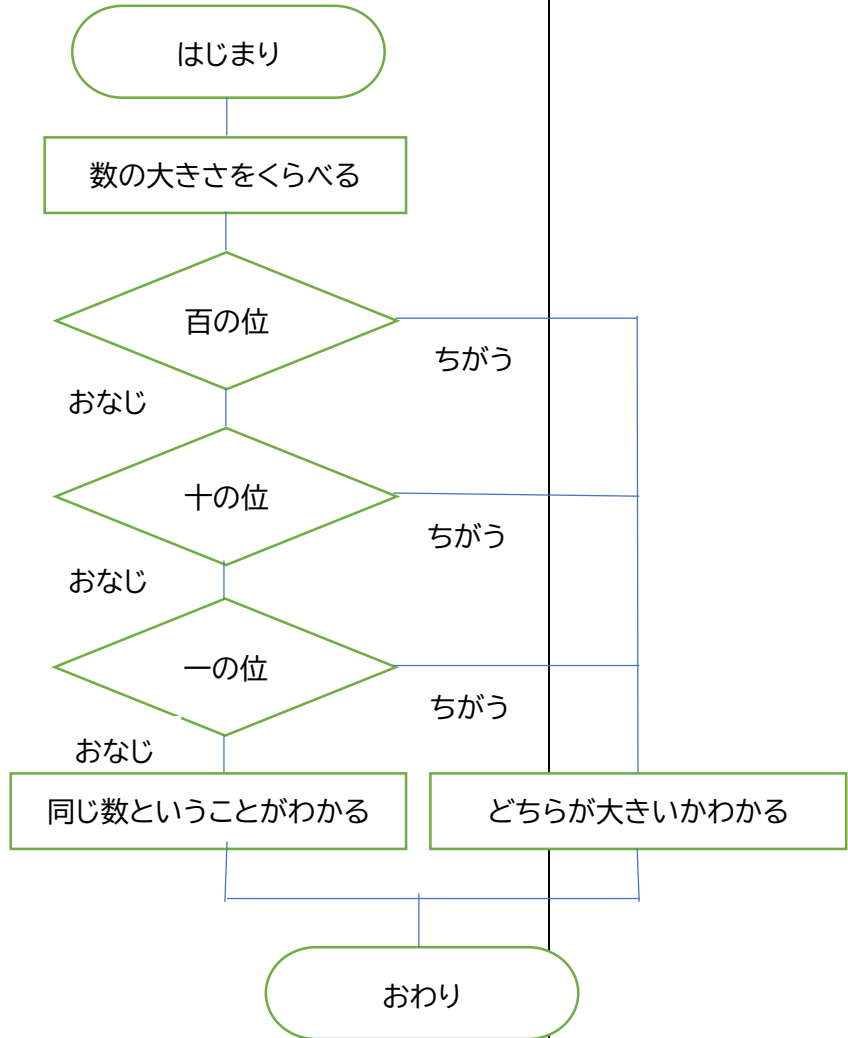
みんなの考え方を、今からフローチャートという表にまとめましょう。フローチャートには、みんなの考えの流れが、ひとめで分かるよさがあります。

T フローチャートの約束を話します。

- ① 楕円形の始まりと終わりを最初と最後につけます。
- ② 順番に書いていくことは長方形にします。
- ③ 答えが分かれるときはひし形にします。

T では、今からみんなで今日の大きさくらべのフローチャートを作っていきます。

【ここで、先生と児童で、確認しながら、黒板にフローチャートを作成していく。】



■まとめ

T これで見ると、大きい位から比べることがよくわかりますね。

■ふり返り

では、ふり返りをしてください。